

令和6年度5会計決算を賛成多数で認定

歳出等決算総額は537億3769万円に

9月定例会

9月定例会が、9月1日から9月26日までの26日間の会期で開かれました。この定例会では、令和6年度5会計決算、令和7年度一般会計、介護保険事業特別会計の補正予算、綾瀬市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例、工事請負契約の締結、工事請負契約の変更、動産の取得、指定管理者の指定、綾瀬市教育委員会委員の任命など、市長から提出された20議案を審議し、それぞれ認定、可決、同意しました。請願1件は不採択としました。議員提出議案では、意見書1件を可決しました。また、陳情は1件を趣旨了承、2件を趣旨不承としました。



(議案の詳細はこちら)

歳入歳出決算の認定

令和6年度5会計決算は、歳入等総額が556億4768万円、歳出等総額が537億3769万円、前年度と比較し、歳入等は3・2%の増、歳出等は0・4%の増となりました。

一般会計では、歳入が対前年度比4・7%増の349億9662万円で、その内訳は、市税などの自主財源が48・6%、国庫支出金などの依存財源が51・4%の割合でした。歳出は、対前年度比4・2%増の、335億8714万円で、主に、もみの木

園建替え工事の着工や児童手当の受給対象年齢の拡大などに要した民生費が、151億5417万円で45・1%、学校給食費の公会計化や(仮称)蓼川コミュニティ供用施設の建設工事の実施などに要した教育費が、39億9329万円、11・9%を占めました。

資本的支出は12億4107万円となりました。主な建設改良事業は、第47処理分区枝線整備工事を実施しました。以上、5議案をそれぞれ認定しました。

補正予算

一般会計(第4号)、介護保険事業特別会計(第1号)の2会計総額で1億3735万3千円増額するもので、2議案をそれぞれ可決しました。

条例

○綾瀬市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴い、所要の改正をするもので、

○綾瀬市一般職の職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正などに伴い、所要の改正をするものです。

○綾瀬市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する

動産の取得

綾瀬市内LED防犯灯、綾瀬スポーツ公園多目的広場人工芝を取得するもので、2議案をそれぞれ可決しました。

指定管理者の指定

綾瀬市立もみの木園の指定管理者として、社会福祉法人唐池学園を指定するもので、可決しました。

人事案件

○綾瀬市教育委員会委員の任命について
田中恵吾氏(海老名市)を再任することに同意しました。

議員提出議案

○国による義務教育財源の保障、教育の機会均等と水準の維持・向上並びに行き届いた教育の実現を求める意見書
義務教育費国庫負担制度を存続・拡充し、義務教育教科書無償給与制度を継続するとともに、行き届いた教育を実現するための予算を確保・拡充することを求めるもので、可決しました。

報告

○令和6年度綾瀬市一般会計継続費精算報告書について
○令和6年度決算に基づく健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率について

工事請負契約の変更

令和6年度(仮称)蓼川コミュニティ供用施設建設工事(建築)、令和6年度光綾公園南側整備工事、令和6年度綾瀬市立綾西小学校空調設備機能復旧工事の請負契約を変更するもので、3議案をそれぞれ可決しました。

工事請負契約の締結

令和7年度(仮称)早川コミュニティ供用施設建設工事(建築)の請負契約の締結を可決しました。



9月23日、「あやせ消防・救急フェア2025」が開催されました。
＜綾瀬市消防本部にて＞

公共下水道事業会計では、下水道使用料などの収益的収入は28億2771万円で、維持管理費などの収益的支出は24億3363万円となりました。また、事業に充てる企業債などの資本的収入は12億4581万円で、工事費などの

また、後期高齢者医療事業では、歳入では保険料が被保険者数の増加に伴い、対前年度比17・2%の増となり、全体の79・4%を、歳出では広域連合への納付金が全体の92・4%を占めています。

令和6年度(仮称)蓼川コミュニティ供用施設建設工事(建築)、令和6年度光綾公園南側整備工事、令和6年度綾瀬市立綾西小学校空調設備機能復旧工事の請負契約を変更するもので、3議案をそれぞれ可決しました。

